

# サポートブックを作りました

## サポートブックとは

指導、遊び、行事、託児、様々な場面でお世話になる人へ、自分の子供の、特徴、性格、自立の度合い、コミュニケーションのとり方、対処方法などをまとめて、あらかじめ伝えるものです。指導の要望書ではありません。子供本人、託される者、託す者が安心して、楽にすごせるようにするための情報提供です。

従来のサポート・ブックには、子供のことを理解してもらって子供本人をサポートしてもらう目的と、サポートをしてくださる方が困らないように、その“サポートをサポートする”目的があると考え、ここでは、サポート・ブックの対象と目的に合わせて“プロフィール・レポート” “サポート Back-Up”と分けて考えるようにしてみました。

サポート・ブック		
	プロフィール・レポート	サポート Back-Up (サポート・バック・アップ)
目的	子供のことをわかってもらう	サポート者のサポート 支援策を伝える
誰にわたす	保護者、友達、近所の人へ配る 外出時に携帯する	子供を指導・サポートしてくれる人（先生、補助、ボランティアさんなど）
主な内容	名前・住所・緊急連絡先等 障害の特徴、性格 気をつけてほしいこと 問題になりやすいこと 好きなこと、苦手なこと、できないこと コミュニケーションのとり方 こんな風に対応してほしいという要望 理解や協力をお願いしたいこと など	生育暦、障害の特徴、 問題行動をおこしてしまう原因 過去の具体的な事例 どんな様子で、これまで どうやってきたか 苦手なことへの取り組みませ方 問題点とこんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法 など 指導の手助けになる情報を伝えるもの
作成ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要なポイントを絞る</li> <li>簡潔で読みやすい</li> <li>重要なポイントは、色をつける、挿絵をつける あちこちに何度も書くなどして印象付ける</li> </ul> <p>自分子供のことなので、あれもこれもと情報を満載したい気持ちにもなりますが、相手にとってどうでもいい情報がガラガラ書かれていると、肝心の情報の重要さが伝わらなくなってしまうおそれがあります。</p> <p>伝える側からの「これだけは知ってほしい、気をつけてほしい」というポイントも、伝える相手がどういう立場の人で、どういう場面であるかで違ってくると思います。</p>	<p>サポート Back-Up を作る前に 親が子供の障害や問題について理解、整理しておくこと、いろいろ試行して、誰でもが使えるような有効な支援方法をたくさん見つけておくことが重要です。</p> <p>お子さんをサポートする人がお子さんのことで一番困っていること、知りたいと思っていることを観察し、何に困っているか予想がつかない時は、率直に質問してもよいと思います。</p> <p>お子さんをサポートする立場や状況によって、そのお子さんについて知りたいと思う情報も違ってくると思います。</p> <p>「こういうことで困って、どうしたらいいのかが対応に困ってくるだろうな、どうすればいいのかが知りたいと思うだろうな」と思われることも予測してみましょう。</p> <p>それらのことへの答えが書いてあるサポート Back-Up になっていれば興味を持って参考にしてもらえ、有効なものとなるはずですよ。</p> <p>多くの場合、サポートしてくださる方は「〇〇という障害はこういう特徴がある」「こういう生育暦です」というプロフィール情報よりも「△△君がこういう行動をしてしまう時には、（それを防ぐには）こういう対処をすると解決しますよ」という支援策を知りたいものと思います。</p> <p>親も支援策がわからず困っているような場合は、「こういう時にはこうなってしまう」という過去の事例をできるだけ具体的に示して、「親も分からず困っている」、「家庭でもできない」という情報でもいいですし、いろいろ調べて「自分の子供には有効と感じてはいないが、一般的にこういう子供にはこういった支援もあるようだ」と紹介しておくのもいいかもしれません。興味を持った方がその支援策を試してくれていい効果があがるかもしれません。</p>

# プロフィール・レポート作成デザインシート

渡す相手、使う場面によって、主として伝えたい情報や 情報量、表現が変わってきます。

<p><b>どんな場面で 誰に知らせるものですか</b> どんな場面</p> <p><b>誰に知らせる</b> 託児などで世話になるボランティアさん 友達 / 保護者 / 近所の人 よく行くお店、レジャー施設の人 職場・実習先の人 など</p>	<p><b>どんな項目を必要としますか</b></p> <p><b>□ 基本情報</b> 写真 似顔絵 名前 呼び名 学校名 学年 年齢 生年月日 血液型、 障害名 療育手帳判定 住所 電話番号 両親の連絡先(緊急連絡先)</p> <p><b>□ 簡単な障害特性</b></p> <p><b>□ 性格</b></p> <p><b>□ 理解レベル</b></p> <p><b>□ 病気・薬など</b></p> <p><b>□ こだわりや癖、パニック 問題になりそうなことへの 対応</b></p> <p><b>□ コミュニケーションについて</b> コミュニケーションの状態 要求の表現 拒否の表現 受け答え</p>	<p><b>□ 指示について</b> 指示するときの注意点 注意の向けさせかた 受入れやすい指示</p> <p><b>□ 好きなこと</b> それをしていると、長い時間落ち着いて 過ごせそうなこと リラクゼーションになること 好きなことを何か利用できるか</p> <p><b>□ 嫌いなこと、苦手なこと</b></p> <p><b>□ 飲食について</b> 好き嫌い(またアトピー等での注意) 食べ方の特徴、癖 自己選択できるかなど</p> <p><b>□ 日常生活の自立について</b> トイレ使用について 着脱について(靴、衣服、体操着) 鼻をかむ、手洗い 持ち物管理</p> <p><b>□ 外出 移動</b> 徒歩での移動 乗り物での移動</p> <p><b>□ 気をつけてほしいこと</b></p>
<p><b>どんな、サイズ・形式のものがいいでしょう</b> サイズ デザイン・色 フォント(字体・色・サイズ)</p> <p><b>形式</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・プリント(チラシ)形式</li><li>・ラミネート加工して活動の場所に下げる物</li><li>・イラストを中心にした一枚のポスター のような注意書きを携帯させる形</li><li>・冊子のように綴じた物</li><li>・O&amp;A形式</li></ul> <p>など</p>		

その相手に お子さんのことで、最もわかってほしいこと、こんな時はこうしてほしいということは何でしょう？

相手をもっとも知りたいと思うだろうことは何でしょうか。  
(自分が書いた後で、相手に質問してみるのもいいかもしれません。案外違っているかもしれません)

そのことに関して、家ではどんな対応をしていますか？      どんな対応をすれば比較的うまくいくようですか？

# サポートBack-Up作成デザインシート

**どんなかわりをしてくれる人に渡すものですか**

学校の先生 / 補助の先生 / 教科の先生  
行事のボランティア指導員  
宿泊行事にかかわる人 / 職場、実習先の人  
塾・習い事の指導者

**どんな、サイズ・形式のものがいいでしょう**

サイズ  
デザイン  
フォント

**形 式**

- ・プリント（チラシ）形式
- ・ラミネート加工して活動の場所に下げる物
- ・イラストを中心にした一枚のポスターのような注意書きを携帯させる形
- ・冊子のように綴じた物
- ・写真ファイルなどに収めて、本のようにする
- ・Q&A形式

**\*100円ショップや文房具屋でいい素材が見つかることもありますよ**

その相手に お子さんのことで、最もわかってほしいこと、こんな時はこうしてほしいということは何でしょう？

相手が対応に困ってくるだろうこと、もっとも知りたいと思うだろうことは何だと思いますか。  
(自分が書いた後で、相手に質問してみるのもいいかもしれません。案外違っているかもしれません)

そのことに関して、家ではどんな対応をしていますか？      どんな対応をすれば比較的うまくいくようですか？

写 真・似顔絵

名 前

呼び名

学校名 学年 年齢

誕生日 血液型、

障害名 療育手帳判定

両親の連絡先（緊急連絡先）

### 簡単な障害特性

### 病気・薬など

### コミュニケーションについて

コミュニケーションの状態

人との係りの持ち方

要求の表現

拒否の表現

受け答え

どんな様子か

問題点・誤解を受けやすい点

これまで どうやってきたか

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

### 指示について

指示するときの注意点

注意の向けさせかた

受入れやすい指示のあり方

使用しているコミュニケーションツール

どんな様子か

これまで どうやってきたか

問題点

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

### 集団行動

どんな様子か

これまで どうやってきたか

問題点

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

### こだわりや癖、パニック、予想される困ったことへの対応

こういうことがあると→

こういうことをします→

パニック等の原因

パニックになった時の対応

### 日常生活の自立について

トイレ使用について

着脱について（靴、衣服、体操着）

鼻をかむ、手洗い

持ち物管理

どんな様子か

これまで どうやってきたか

問題点

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

### 好きなこと

好きな遊び・スポーツ

それをしていると、長い時間落ち着いて過ごせそうなこと

好きなことを何かに利用できますか

好きなことをやめさせる時は

### キライなこと・苦手なこと できないこと

どんな様子か

嫌いなこと、苦手なこと、できないことによる問題はありますか

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

嫌いなこと、苦手なこと、できないことに対して、親はどういう対処を希望するか

### 飲食について

好き嫌い（またアトピー等での注意）

食べ方の特徴、癖

自己選択できるかなど

給食指導における問題点

どんな様子か

これまで どうやってきたか

問題点

親の希望と、支援策

### 外出・移動

徒歩での移動

乗り物での移動

新しい場所への対応

どんな様子か

予想される問題点

これまで どうやってきたか

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

### 理解レベル・学習レベル

どんな様子か

どの位の学習、理解能力なのか

できること、できないこと

得意なこと、苦手なこと

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

**教科学習・学習科目**

(国・数・英・理・社・)

学習内容

理解の特徴

授業・学習の態度、取り組みの様子

どう、取り組ませてきたか

問題点

親の希望

こんな時こうしてほしいという具体的な支援の方法

**教科学習・実技科目**

(技家・美・体・音)

学習内容

理解の特徴

授業・学習の態度、取り組みの様子

どう、取り組ませてきたか

問題点

親の希望

こんな時こうしてほしいという具体的な支援の方法

**学校行事**

入学式

卒業式

どんな様子か

これまで どう取り組んできたか

予想される問題点

具体的な支援の方法

**学校行事**

音楽会

運動会

学芸会

どんな様子か

これまで どう取り組んできたか

予想される問題点

具体的な支援の方法

**学校行事**

校外での学習

どんな様子か

これまで どう取り組んできたか

予想される問題点

具体的な支援の方法

**クラブ活動・余暇活動など**

どんな様子か

これまで どうやってきたか

問題点

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

**健康診断・検診・診察**

どんな様子か

これまで どうやってきたか

問題点

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

**仕事・作業・手伝いをさせる**

どんな様子か

これまで どう取り組んできたか

問題点

具体的な支援の方法

**宿泊活動で**

寝起き、寝つき

歯磨き

お風呂

就寝

荷物の管理

どんな様子か

これまで どうやってきたか

問題点

こんな時はこうしてほしいという具体的な支援の方法

**一日の日課表**

7:00	
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	
12:00	
1:00	
2:00	
3:00	
4:00	
5:00	
6:00	
7:00	

**一週間の過ごし方**

月	
火	
水	
木	
金	
土	
日	

# プロフィール・レポート/サポートBack-Upチェックシート

## プロフィール・レポート

- 読みやすいですか
- 見る人の注意を引きそうですか
- 肝心なこと、必要なことを落としていませんか
- 一番伝えたいことが印象に残りますか
- 「あれも これも」と書きすぎていませんか
- お子さんのキャラクターやお子さんの障害の特徴が簡潔に伝わるものになっていますか
- お子さん本人が嫌がる表現や嫌がりそうなものになっていませんか
- “読んでほしい方の 知りたいだろうこと”に答える内容になっていますか

## サポート Back-Up

- 読みやすいですか
- 読む方が 興味を持って読めそうですか
- 「あれも これも」と無駄な情報まで書きすぎていませんか
- 肝心なこと、必要なことを落としていませんか
- 一番伝えたいことが読む人の印象に残るように伝わると思えますか
- お子さんのキャラクターやお子さんの障害の特徴が簡潔に伝わるものになっていますか
- お子さん本人が嫌がる表現や嫌がりそうなものになっていませんか
- “読んでほしい方の 知りたいだろうこと”に答える内容になっていますか
- 誰でも実行できそうな具体的な支援策が書かれていますか
- 「ああしてくれ、こうしてくれ」のお願いの書になっていませんか
- 「子供の気持ちを察してくれ」「こどもの心を理解して」など、実行が難しい抽象的な記述でなく  
“こういう時にこうなる”と具体的な事例で紹介されていますか

# プロフィール・レポート/サポートBack-Up提示チャンス

## 新年度や 新しくお世話になる時

くれぐれも、「お願いブック」「要望書」にならないように。  
始めは、プロフィール・レポート程度にとどめておいた方がいい場合もあります

## 宿泊行事などの前

問題になってきそうなことを予測して、対応策を載せましょう

## 相手の方も慣れて様子がわかってきて、そろそろ「どうしたらいいのかわからない」と知りたいと思いはじめた頃

「こういうことで困っているのですが」→「それならばこれを読んでください」という形でサポート Back-Up を渡せるのは効果的

## ある程度長い期間接してくれている人には「サポート Back-Up を作って(改訂して)みたいので

**情報を付け足してほしい」と 原案を渡し、サポート Back-Up の作成に加わってもらおうという形で見せる**

同志として巻き込むことで、改めてサポート Back-Up を真剣に読んでもらったり、子供のことを見直してもらうチャンスになります。